



1人1台端末で学習の幅が広がる

5月6日、霞ヶ浦中学校で生徒1人につき1台の端末(タブレットパソコン)を活用する授業が本格的に開始されました。タブレットパソコンを使用し、授業で出される課題や意見のオンライン共有、調べ学習、ドリル学習などに活用されています。また、生徒総会などの様子をオンラインでつなぎ、各教室のモニターで確認することも可能となっています。今後も活用の機会が増え、学習の幅が広がることが期待されます。



高齢者へのワクチン接種

5月26日から、市内のワクチン接種会場で、65歳以上の高齢者を対象とした「新型コロナウイルスワクチン接種」が開始されました。集団接種会場のかすみがうらウエルネスプラザ体育館では、1回目の接種がスムーズに行われ、接種された方は、安堵の表情を浮かべていました。今後は、優先順位に基づき60歳から64歳の方と、60歳未満の基礎疾患を有する方(事前申請が必要)へ接種券が配布される予定です。



「おかしも」をしっかり守り避難訓練実施

5月10日、下稲吉中学校で避難訓練が行われました。地震発生を想定し、素早く机の下へ潜って自分の身を守り、その後、経路を確認しながら校舎の外へ避難しました。「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」の「おかしも」の約束をしっかり守り、全生徒が素早く避難することができました。生徒一人ひとりが「自分の身は自分で守る」という意識を持つことが大切であると再確認していました。



大切な命を守るための交通安全教室

5月27日、第一保育所で「交通安全教室」が行われました。土浦警察署員と腹話術のけんちゃんから「一つしかないみんなの大切な命を守るために交通安全のお約束があるんですよ」と、絵のパネルなどを使った交通安全のお話がありました。交通ルールや標識の意味、横断歩道の安全な渡り方について学び、最後に、道路に出る時は「ピタッ!」と止まること、車に乗ったら「カチッ!」とチャイルドシートに座ることを約束しました。



全力で挑んだ最後の体育祭

5月15日、千代田中学校で最後の体育祭が開催されました。今年は「輝け栄光～Winners never give up～」のスローガンのもと、生徒一丸となって競技を行いました。100メートル走やオールスターリレー、全学年対抗の連続八の字跳びなどが行われ、会場は熱気で包まれました。千代田中学校としては最後の体育祭となるため、より良い体育祭にしようとして一生懸命に励む生徒の姿に、観客は感動し、大きな拍手を送っていました。



元気に走り回った小運動会

5月28日、わかぐり保育所で「小運動会」が行われました。かけっこやダンス、障がい物競走に参加し、友達と元気いっぱいグラウンドを駆け回った子どもたち。年長児のリレーでは、よいどんでスタートすると、全速力で疾走し、その姿に「がんばれ!」と子どもたちの元気な声援が響き渡りました。アンカー対決では、手に汗握るレース運びでゴールはほぼ同着。全員で盛り上がった運動会は楽しい思い出となりました。



日本語ボランティア養成講座

5月26日、外国人市民に日本語を指導する講師を育成する「日本語ボランティア養成講座(全10回の2回目)」が開講されました。昨年度に続き2度目となる同講座は、今回、初の試みとして、Zoom(ズーム)を使ったオンライン講座を行い、受講者からは「新型コロナウイルスを気にせず受けられた」との声がありました。7月末の講座修了後は、かすみがうら国際交流会主催の「外国人市民のための日本語教室」での活躍が期待されます。



花のみちにマリーゴールドを植栽

5月29日、30日、花のみち花壇で、市民ボランティアによる「マリーゴールドの植栽」が行われました。令和元年度に市緑化推進協議会が企画した「市の花“あじさいの苗を育てよう”プロジェクト」に賛同いただいた多くの市民と市内全小中学校の児童生徒が、挿し木から1年間かけて育成し、植栽したあじさいの花も咲き始め、マリーゴールドとのコラボレーションが道行く人の目を楽しませてくれています。

